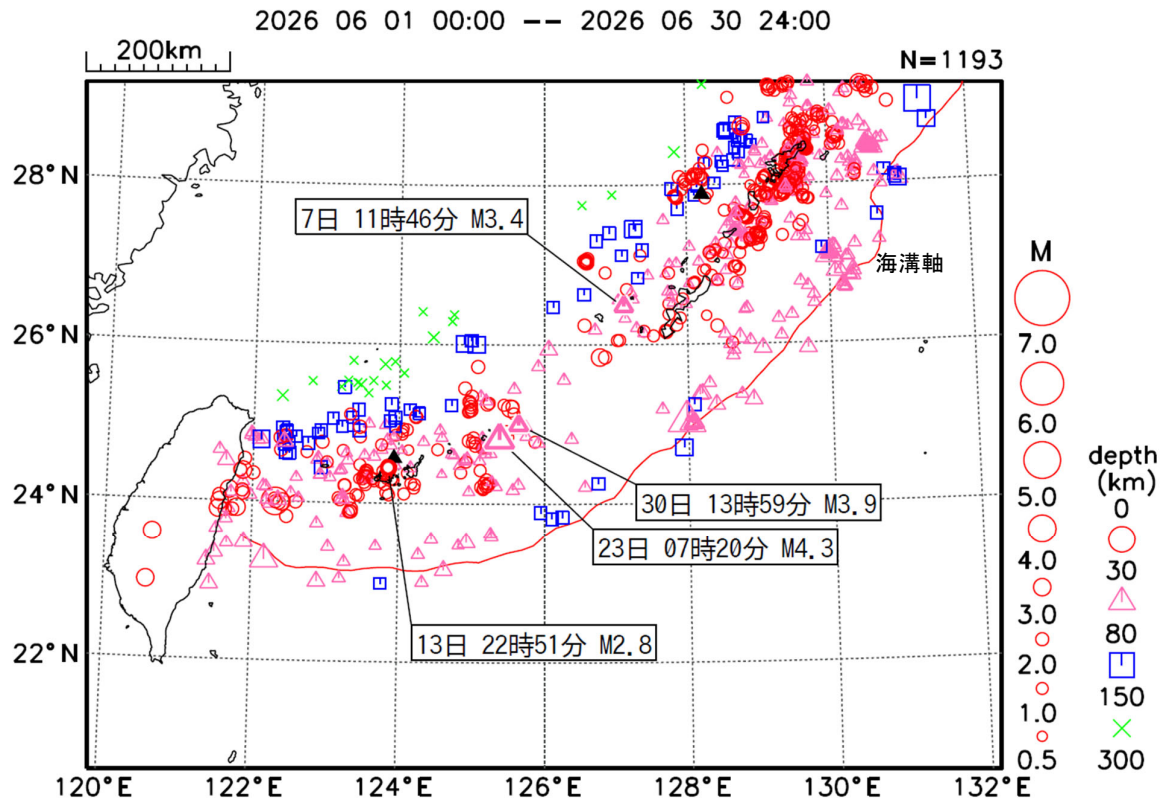


沖縄地方の地震活動

令和8年（2026年）6月

沖縄気象台

図1 沖縄県及びその周辺の震央分布図



図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ
N：地震の回数（マグニチュード0.5以上の回数です）
▲：活火山
沖縄県内で震度1以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。

[概 況]

今期間に沖縄県内で震度1以上を観測した地震は4回（5月は25回）でした。

6月の主な活動は次のとおりです。

気象庁は8日08時37分（日本時間）、フィリピン諸島、ミンダナオの地震（深さ55km、Mw7.7：Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード、震央分布図範囲外）に対して、沖縄本島地方、大東島地方、宮古島・八重山地方に津波注意報を発表しました。この地震により、小笠原諸島の父島二見で17cm、沖縄市中城湾港^{（注1）}で5cm、南城市安座真^{（注2）}、宮古島平良^{（注1）}、石垣島石垣港で4cmなど、小笠原諸島、伊豆諸島及び千葉県から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波を観測しました。（注1）内閣府沖縄総合事務局の観測施設（注2）国土地理院の観測施設

23日07時20分、宮古島近海の地震（深さ50km、M4.3）により、宮古島市から多良間村にかけて震度2～1を観測しました。この地震は、繰り返し宮古島近海で発生している地震（グループB）に該当します※。

※沖縄地方の繰り返し地震については、末尾記載のURL参照

図 2 - 1 沖縄本島付近の震央分布図及び断面図

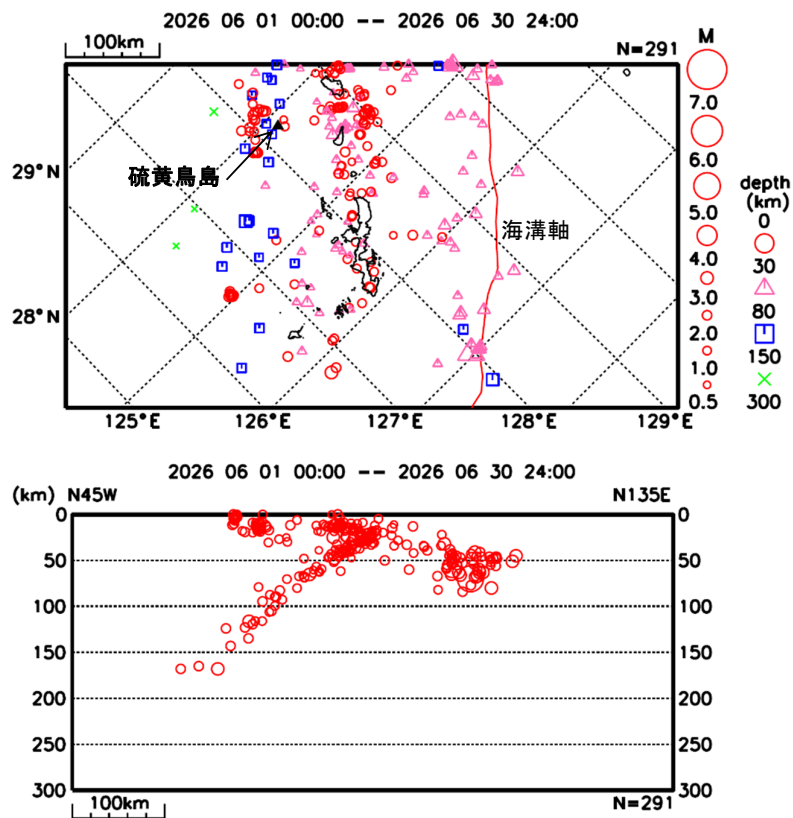


図 2 - 2 宮古・八重山諸島付近の震央分布図及び断面図

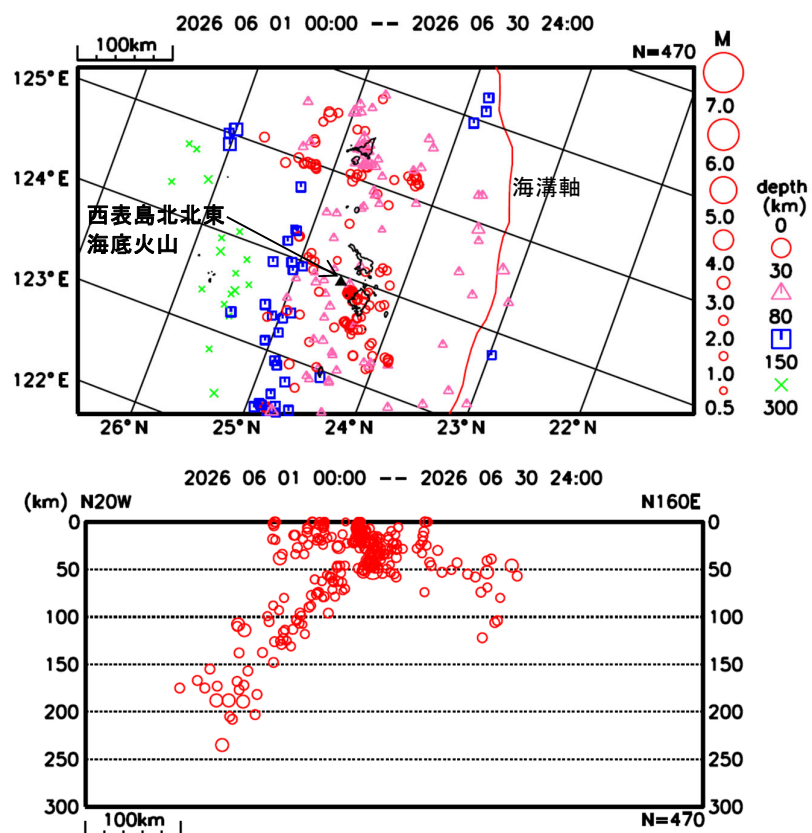


図3 震度分布図

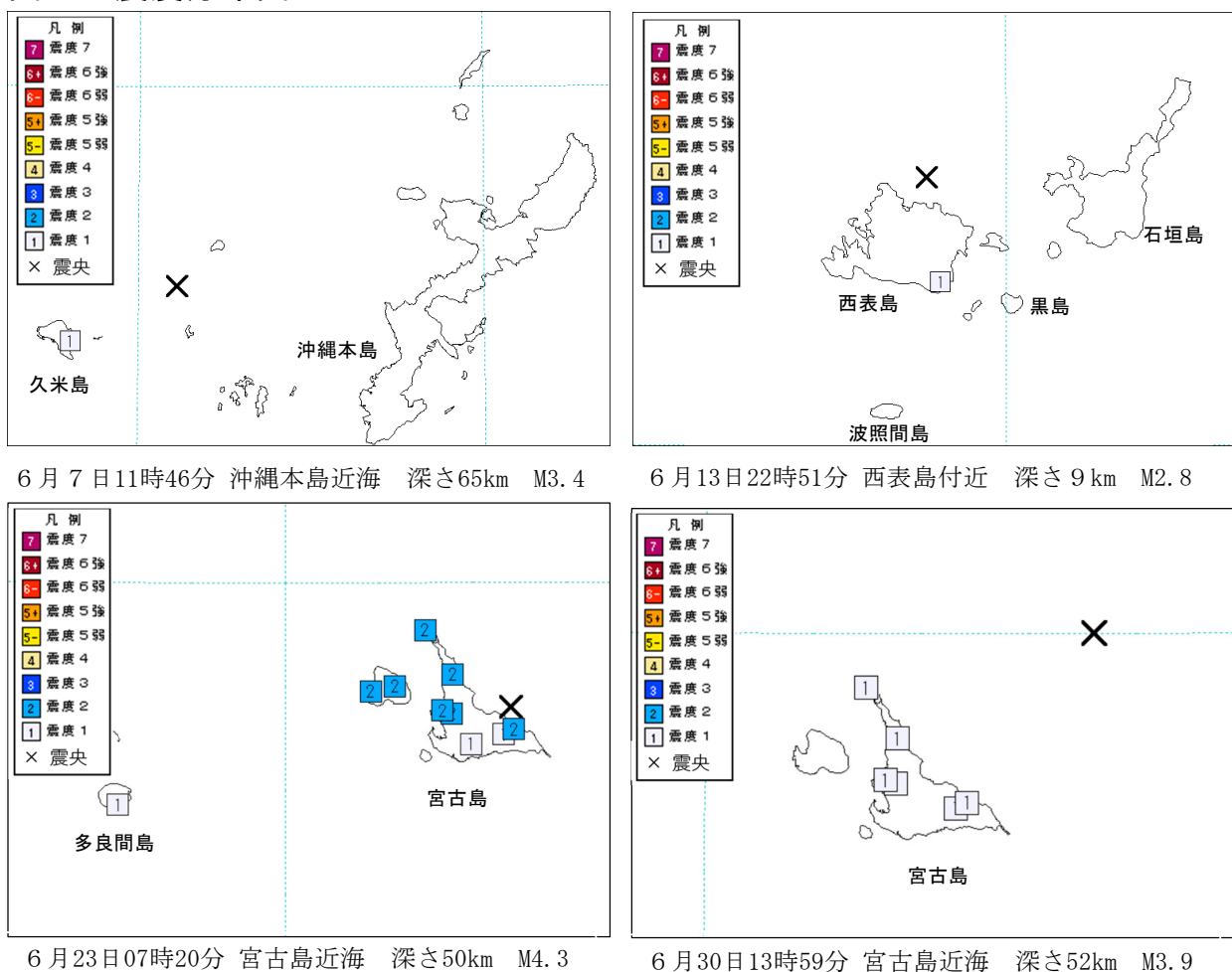


表1 沖縄県内で震度1以上を観測した地震の表（期間6月1日～6月30日）

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2026年06月07日11時46分 沖縄県 震度 1：久米島町謝名堂	沖縄本島近海	26° 28.9' N	127° 06.7' E	65km	M3.4
2026年06月13日22時51分 沖縄県 震度 1：竹富町大原	西表島付近	24° 26.8' N	123° 51.2' E	9km	M2.8
2026年06月23日07時20分 沖縄県 震度 2：宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間, 宮古島市伊良部前里添 宮古島市平良狩俣*, 宮古島市平良西里*, 宮古島市下地島空港* 震度 1：多良間村塩川, 宮古島市上野新里, 宮古島市城辺福西*	宮古島近海	24° 48.5' N	125° 23.0' E	50km	M4.3
2026年06月30日13時59分 沖縄県 震度 1：宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間, 宮古島市平良狩俣* 宮古島市城辺福西*, 宮古島市平良西里*	宮古島近海	24° 59.4' N	125° 38.8' E	52km	M3.9

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※沖縄地方以外に震度が観測された場合は、その震度も記載します。

※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025 年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

詳細は沖縄気象台ホームページで閲覧できます。

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/jishin/quake.html>

震度 1 以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」でご覧になれます。

URL <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

地震・津波・火山に関する防災一口メモ

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/now/memo/sougou.html>

沖縄地方の繰り返し地震

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/jishin/quake.html>

本件に関する問い合わせ先：沖縄気象台地震火山課 098-917-7927



8月26日は「**火山防災の日**」です。火山災害から身を守るためには、気象庁が発表する火山に関する情報に基づき、噴火警戒レベルに応じた行動をとることが重要です。

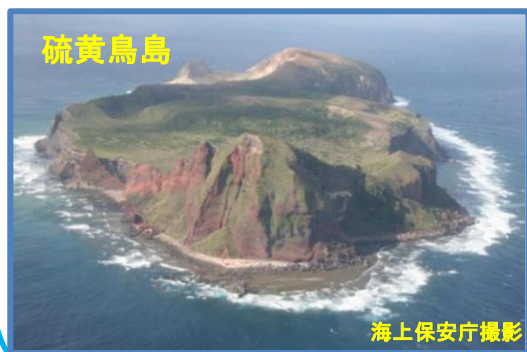
「**火山防災の日**」をひとつのきっかけとして、火山災害に備えておきましょう。

＜ 沖縄にある活火山 ＞

沖縄県に住んでいると、普段の生活で火山を意識することは少ないと思いますが、県内には、**2つの活火山**があります（2026年6月現在、火山活動は静穏な状態で、噴火の兆候は認められません）。概ね過去1万年以内に噴火した火山や現在活発な噴気活動のある火山を活火山と定めています。世界に約1500の活火山があり、そのうち日本には111の活火山があって日本は世界でも有数の火山国と言えます（下図参照）。

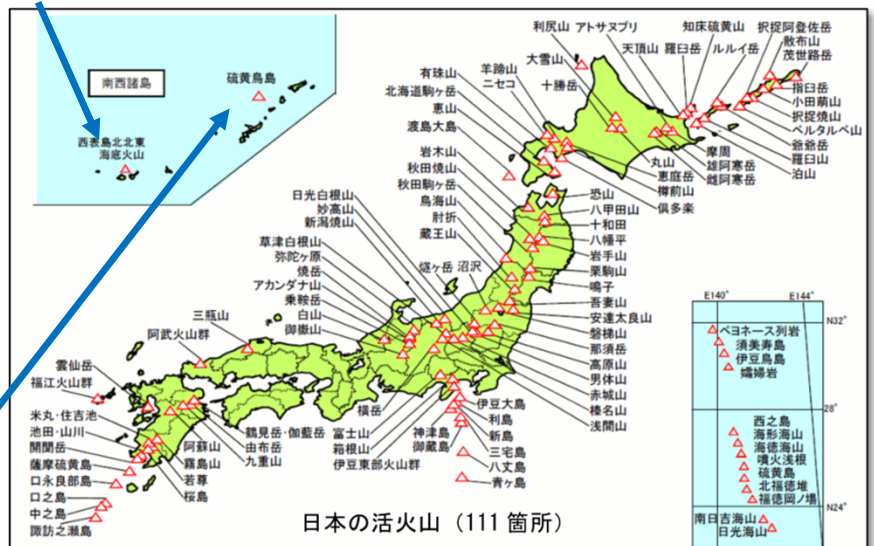
・硫黄島

1959年6月の噴火では、全島民86人が島外（久米島）に移住した。現在は無人島。



・西表島北北東海底火山

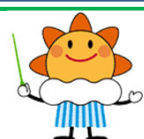
1924年10月31日に突如噴火。多量の軽石が排出され、付近の海面一体を埋め尽くし、その後黒潮の流れで日本各地に漂着した。



●「火山防災の日」特設サイト（気象庁HP）

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/kazanbosai/index.html>

この特設サイトで、火山の魅力・恩恵やその危険性を正しく理解し、火山災害に備えていただければと思います。



地震に関する情報は
沖縄気象台ホームページまで

<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/index.html>

沖縄気象台

検索

